



キーワード

食中毒 食品衛生 細菌性食中毒 ウイルス性食中毒
化学性食中毒 自然毒食中毒 生食 感染症 大量調理 衛生管理

🔗 関連する授業：「食品衛生学」「給食経営管理論」「微生物学」「疫学」

》》》 入門的な情報源 《《《

そもそも「食中毒」とはということなのか、おさえておきましょう。

【図書館で所蔵している図書の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『給食経営管理用語事典』第一出版 2011	R498.59/N	分館
『公衆衛生がみえる』医療情報科学研究所/編 メディックメディア 2014 →p308～「食中毒」の章に原因物質の種類とそれぞれの解説、食中毒統計などが載っています。	498/I	本館

「閲覧ビジュアルⅡ」の「知蔵」も利用できます。(インターネット・学内のみ)

》》》 図書を探す 《《《

まずは、学内の関連図書を探しましょう。

■テーマの書架へ行って探す

【関連分野の分類番号】

465	微生物学・カビ	491.7	細菌学・病理微生物学
493.157	食中毒	493.8	感染症
498.54	食品衛生	498.59	集団給食
498.6	疫学・寄生虫予防	N954	救急看護

■OPACで探す

→「書名」に“食中毒”と入れてみる。「内容細目」にチェックが入っていると、書名に“食中毒”の語句がなくても件名などから見つかることがあります。

→配架場所が研究室の場合は、その先生の研究室に伺ってお願いしましょう。

【図書館で所蔵している図書の一例】

内容	資料情報	請求記号	配架場所
食中毒の歴史	『食品衛生の歴史と科学 人はいかにして毒を知り食の汚染を防げるようになったか』細貝祐太郎/編 中央法規 2013	498.54/H	分館
食中毒に関する基礎知識	『これだけは知っておきたい食中毒・感染症の基礎知識』橋本秀夫 中央法規 2002	498.54/H	分館
大量調理時・食品製造時の食中毒予防	『調理場における衛生管理&調理技術マニュアル』文部科学省スポーツ青少年局学校健康教育課 2011	374.94/M	分館
	『食中毒・感染症を防ぐ!!衛生的な手洗い』日本食品衛生協会 2014	498.54/M	分館
細菌性・ウイルス性食中毒	『人体に危ない細菌・ウイルス：食中毒・院内感染・感染症の話』小林一寛 PHP 研究所 2014	B491.7/K	分館
	『わかりやすい細菌性・ウイルス性食中毒』伊藤武/監修 日本食品衛生協会 2010	498.54/I	分館

●NDL-OPAC

国立国会図書館の蔵書目録です。国内で刊行されたほとんどの図書が検索できます。

●Webcat-Plus

「連想検索」で図書を検索できます。また、所蔵している図書館も表示されます。

●CiNii Books

「大学図書館の本をさがす」のところから日本の大学図書館の蔵書から検索でき、所蔵館が表示されます。

- 新書マップ 入手しやすく入門的資料になりやすい新書を、テーマに基づいて探すことができます。連想検索機能があり、キーワードなどから瞬時に関連図が作成されます。

}} 雑誌・雑誌記事を探す <<<

テーマに関連した研究を進める上で、論文や雑誌記事は欠かせません。出版されるまでの時間が短いのでタイムリーな話題が掲載されています。

■実際の雑誌から関連記事を探す

【図書館で所蔵している雑誌】

資料情報	所蔵年	配架場所	Web 目次
『食品衛生学雑誌』 日本食品衛生学会/隔月刊	2005-現在	分館	O2004-
『食生活研究』 食生活研究会/隔月刊	1993-現在	分館	×
『食品と開発』 UBM ジャパン/月刊	1986-現在	分館	O2001-
『学校給食』	1995-現在	分館	O2011.4 以降
『日本栄養士会雑誌』 日本栄養士会/月刊 (前誌：栄養日本)	1980-現在	分館	O2003- *J-STAGE では 2008 より一部公開

→各号の目次をコピーしてまとめてあります。バックナンバーを探すのに便利です。

→“web 目次”欄の記述は、各出版社サイトから目次などが見られる範囲です。

《このほか、特集記事などに「食中毒」「感染症」などが取り上げられているものの例》

雑誌名	特集記事	巻号, 発行年	配架場所
『公衆衛生』	自然毒食中毒	73(5), 2009	本館
『小児内科』	消化管感染症	46(1), 2014	本館
『臨床と微生物』	腸管感染症の最新知見	40(2), 2013	本館

■雑誌記事や論文を探す

- CiNii 国内の学術雑誌・一般雑誌の論文や記事を検索できます。

→「食中毒」と入れて検索すると、次のような論文が表示されます。(一例)

学校行事等で起きた食中毒について
 櫻井秀樹 鈴鹿短期大学紀要 33, 57-68, 2013

CiNii PDF オープンアクセス

このように、「CiNii-PDF」「機関リポジトリ」「CiNii-Link1」というマークがついていれば、全文を読むことができます。(有料のため見られないという例外もあります)「CiNii-PDF 定額アクセス可能」の場合は、学内であれば、閲覧が可能です。

*上記のようなマークが無い場合～論文詳細画面の CiNii Books のアイコンをクリックすると掲載誌の所蔵館が表示され、本学にある場合は「名寄市立大学図書館」が一番上にきます。その際、所蔵範囲を確認しましょう。

- 医中誌(医学中央雑誌) 医学・薬学・看護学系の国内約 5500 誌を対象としたデータベースです。

《学内専用・同時アクセス 4》

→「自然毒食中毒」と入れて検索すると次のような論文が表示されます。

【自然毒食中毒】わが国におけるカビ毒により食中毒とその現状(解説/特集)
 杉山圭一、小西良子
 公衆衛生(0368-5187)73 巻5号 Pge353-356(2009.05)



このマークがついていれば、当館に雑誌の所蔵があります。

これらのマークがあれば、アイコンをクリックして、本文を読むことができます。

■文献ガイド

『現代を知る文献ガイド 食の安全性—産地偽装から風評被害まで』日外アソシエーツ 2013
498.54/N 分館

→テーマに沿った文献が体系的に分類されており、関連文献が一覧できます。

>>> 新聞記事を探す <<<

最新のニュースや動向などは、新聞が重要です。読むことができる一般紙・専門紙は次のとおりです。

●原紙

資料情報	種類	所蔵範囲	配架場所
朝日新聞	一般紙	過去3カ月程度	本館
毎日新聞	一般紙	過去3カ月程度	本館
北海道新聞	一般紙(ブロック紙)	過去1年程度	本館
読売新聞	一般紙	過去1年程度	分館
産経新聞	一般紙	過去3カ月程度	分館
日本経済新聞	専門紙	過去3カ月程度	本館

*朝日新聞については、縮刷版の所蔵もあります。

(1948.1-2004.12 は分館書庫、2005.1-2011.3 は本館)

●新聞データベース

「聞蔵ビジュアルⅡ」(学内のみ) ~キーワード・日付などから検索できます。

→「食中毒」と入れて検索すると、次のような記事が見つかります。(一例)

危うし、路上の弁当屋さん 衛生面懸念、都が規制強化へ
2014年5月21日 夕刊 1 総合 1 ページ

>>> 視聴覚資料 <<<

DVDなどの視聴覚資料も参考になります。次のものは館外貸し出しが可能です。

資料情報	請求記号	配架場所
『ノロウイルスの食中毒と感染症』日本食品衛生協会	D5-1	本館
『HACCPを基本にした 自主衛生管理』日本食品衛生協会	D5-28	本館
『食品衛生の基礎』(食品衛生のプロ・ビデオシリーズ) 日本食品衛生協会	D5-27	本館

>>> 専門的な情報源・統計 <<<

更に深くテーマを掘り下げるには、白書や統計、法令、専門事典などの情報源が役立ちます。

【図書館で所蔵している資料の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『栄養調理六法』新日本法規 2015 →第五編第一章「食品衛生」など 《法令》	R498.54/E/ 2015	分館
『カラーグラフィック図説食品汚染病原微生物-健康危害と予防のための衛生管理』丸山務ほか/監訳 廣川書店 2003 →食中毒の起因物質の性質や臨床症状、検査法といった医学・微生物学側面に加え経済的影響などにも言及しています。*原著は1991年です。*特にウイルス性食中毒に関しては、今日、研究が大きく進んでいます。 《専門事典》	498.54/V	分館

『食の安全と健康意識調査データ集』三冬社 2012 →食中毒の推移・発生状況等の統計が載っています。《統計》 *食中毒統計調査は政府統計の総合窓口 e-Stat からも見ることができます。 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do	R498.54/S/ 2012	分館
『食中毒予防必携 第3版』日本食品衛生協会 2013 →食中毒予防と発生時の対応についてのマニュアルが記されています。各論として原因物質の解説、資料として関係法令等も掲載。 《手引・ハンドブック》	498.54/S	分館

>>> Web サイト <<<

関連サイトには次のようなものがあります。

●日本食品衛生協会 <http://www.n-shokuei.jp/>
→食品衛生情報の総合サイトです。食中毒については、微生物の特徴や食中毒予防のポイントなどを詳しく説明しています。

●厚生労働省「食中毒」
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/index.html

→食中毒の原因と対応、食中毒統計や調査結果などが提供されています。パンフレット類は自由に使用できるほか、「家庭でできる食中毒予防の6つのポイント」などの動画も見られます。

●厚生労働省「食中毒統計調査」<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/112-1.html>
→食中毒発生事例の原因物質・患者数・施設等の統計が見られます。(政府統計の総合窓口にリンクします)

●農林水産省「安全で健やかな食生活を送るために」<http://www.maff.go.jp/j/fs/index.html>
→“食中毒から身を守るには”という項目で、予防のポイントや一般的な症状と対処法などが紹介されています。

●国立感染症研究所 <http://www.niid.go.jp/niid/ja/>
→感染症全般の研究により国民の保健医療向上に寄与する機関です。「感染源や特徴で探す」というメニューから“食中毒と腸管感染症”を選べると、詳しい情報を見ることができます。

●名寄保健所 <http://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/hk/nth/>
→名寄地区および全道の食中毒警報発令情報を提供しています。

図書館にない資料を入手するには

■直接利用

所蔵している図書館を調べ(CiNii Books など)直接出向いて閲覧することができます。

★北海道地区大学図書館相互利用サービス…学生証を提示し、利用登録手続きをすると、閲覧や館外貸出が可能です。(道内 39 大学 47 館)

★その他の大学図書館…おおむね、学生証の提示で閲覧が可能ですが、各大学図書館のホームページで確認してから訪問しましょう。

*「紹介状」が必要な場合は発行しますので、カウンターで申し込んでください。

★国立国会図書館…満 18 歳以上であれば誰でも利用できます。

★北海道立図書館…北海道内に居住している方・帰省先などがある方は誰でも利用できます。

■複写取り寄せ・現物貸借

他大学・国立国会図書館・道立図書館から、資料の複写物・図書現物を取り寄せることができます。

申込用紙に記入の上、申し込んでください。

* 国立国会図書館から借りた場合は、館内閲覧のみです。ご注意ください。
国内で所蔵館がない場合でも、英国図書館があれば、取り寄せることができます。

■ リクエスト

要望があれば、購入します。リクエストカードに記入して申し込んでください。

* 絶版などの理由で購入できない場合もあります。